

佐土原 R C

週報



国際ロータリー第2730地区
 佐土原ロータリークラブ
 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

Real Happiness is Helping Others
 ことの幸福は人助けから

1992. 7. 24 (金) 第231回例会
1. 点 鐘
 2. ロータリーソング「手に手つないで」
 3. 「四つのテスト」唱和
 4. 楽しく食事を
 5. 会長の時間
 6. 幹事報告
 7. 各委員会報告
 8. 会員卓話 郡司武俊君
 9. 点 鐘

第230例会記録 (1992. 7. 17)

会長の時間 岩切正司
 皆さん今日は、本日は第230回例会です。
 今回は、秦 喜八郎中部分区代理をお迎えして、クラブ・アッセンブリーを行うことになっていましたが、前回都合により実施しましたので、普通例会にします。
 1992~1993年度RIテーマは「まことの幸福は人助けから」であります。本日は「まことの幸福」について話してみたいと思います。
 昔の諺に、①減らぬ金千両、②考行息子3人、③死なぬ命、の三つがあったら幸福である、といわれております。
 この考えは儒教に拠っているようです。わが国の文化の起源は東北アジアに見られます。即ち、儒教の影響を受けているわけです。

儒教が日本に伝来して2,000年になります。儒教の儀礼や儀式は佛教に吸収されたがその精神は儒教に残されています。お盆の行事などは儒教の影響でありましょう。

減らぬ金千両

今や日本は経済大国に成長しました。そのバックボーンは、2,000年の歴史を有する儒教であります。世界で最も貯蓄率の高い国は、日本と韓国です。儒教の影響の強い国です。また、華僑も、金持になっても一所懸命に働きます。ひたすら働いて、ひたすら貯えるのが儒教の思想であります。

これに対して仏教では「布施」といって、金や物への執着心を捨てることを教えています。教尊は、生まれながらにして恵まれていた権力や財力を全部捨てて、衆生と投済するため仏教の開祖となられたのです。

考行息子3人

戦後のわが国はヨーロッパ系の文化に変わりつつありまして、子どもと少く雇むようになりましたが、それまで、考行息子が少くとも3人いれば親は幸せな老後を迎えられ、家業も繁栄するといわれていました。考行という文字からも縁遠くな、た現代から思えば、まさに隔世の感ありです。

死ぬぬ命

これこそ人間の最大の願望でしょうか。
人々が宗教を求めはじめたのは、死ぬぬ命が欲しいからです。

権力と財力で不老長寿を実現しようとしたのは、有名な秦の始皇帝です。毎日部屋を替えて、そこに住ませた美女と過ごし(新鮮なホルエゴの吸収)、世界中から不老長寿の薬を集めさせました。

宗教の基本理念は不老長寿ではありません。もちろん誰でも長生きをしたいのですが、死の問題をどのように解決するか、死への不安をどのようにして除くことができるか、を宗教では重視しています。

仏教では、人間は死後浄土に生まれ仏になる、キリスト教では死ぬと人間は天国へ行く、とどちらもあの世の世界があることを教えています。

儒教では、あの世の世界はあまり考えず、先祖崇拝を大事にしています。

まことの幸せを何に拠ってとらえるか、人それぞれに価値観は違いますが、私は仏教でいいと思います。教典の中に示してある幸せについて拠っていきたいと思います。

次回から「まことの幸せ」について話していきたいと考えます。(要旨筆者)

幹事報告 代理 柳田光寛

1. 7月31日に、本坊がバナー合同歓迎会開催の案内が来ています。
(会長・幹事、会長エリート出席)
2. 宮崎北RCより濱田松太郎君のM.U.通知

出席報告 委員長神宮寺利夫

会員数	16名
H.C.欠席者数	6名
出席者数	10名
出席率	62.5%
M-777者数	1名
修正出席率	68.75%
M-777状況	濱田(宮崎北)
欠席者名	正岡・藤堂・垂水・郡岡・井下

会員卓話 池田仁志

今年、「古月禪師」生誕635年に当たります。「東の白隠、西の古月」と呼ばれた名僧の古月禪師は、佐土原町佐賀利に生まれ、大光寺末寺の松巖寺で修業し、京都妙心寺で仏法を究め、全国の名僧を訪ねて学びました。

38歳のとき、請われて大光寺に帰り、山門の再建、大光寺の修復に努め、41歳で大光寺42世となりました。

民衆の教化には特に意を注ぎ、当時流行の盆踊り唄が多かったことに鑑み、人の道の教えを、いろは唄にとり入れた盆踊り唄を作って町内に広めました。これが有名な「いろは口説」です。内容は、古今に通じる处世訓と言っても過言ではありません。

佐土原で生まれた「いろは口説き」は、大分県西国東郡、福岡県久留米市、山口県大島郡東和町、島根県石見町、広島県安芸郡蕨川町、京都府中郡峰山町へと傳われています。

佐土原町から文化が全国に普及して行ったということは、愉快なことではありませんか。地元では、堤・佐賀利・田上・竹島、それに西都地区でも、「いろは口説」盆踊りが継承されています。

古月禪師のような人物が佐土原町の先達としていたことに誇りと持って、私たちが頑張らしましょう。(要旨筆者)